

県育成あじさいの高品質安定生産技術の確立

1. 成果の要約

栃木県育成 3 品種「パラソルロマン」、「エンジェルリング」、「プリンセスリング」を需要の高い母の日に安定した品質で開花させるための生産技術を検討した結果、育苗時の最終摘心は、8 月下旬に行うと花芽の揃いが良好となり、休眠打破に必要な 5℃以下の低温遭遇期間は、いずれの品種も 720 時間以上であった。

「パラソルロマン」は開花時の草姿が乱れやすいが、摘心 10～20 日後および定植 10 日後にダミノジット顆粒水和剤 200 倍液の散布で、株高を 30cm 程度に抑制でき、草姿改善が図られた。また、花色を安定させるため定植時にリン酸成分を 5 号鉢で 9.9g/鉢以上施用することで、赤色味の発色が優れる。

2. キーワード

あじさい、パラソルロマン、エンジェルリング、プリンセスリング、高品質安定生産技術

3. 試験のねらい

栃木県育成新品種「パラソルロマン」、「エンジェルリング」、「プリンセスリング」を消費需要の高い母の日出荷に向け、安定した品質を確保するため、低温遭遇期間や育苗時の摘心時期、わい化剤処理、リン酸の施用が開花形質に与える影響を検討し、栽培技術を確立する。

4. 試験方法

あじさいの品種は、「パラソルロマン」、「エンジェルリング」、「プリンセスリング」を使用した。

- (1) 育苗期の摘心時期の検討：挿し木苗を、2.5 号ポットに鉢上げし、8 月 11 日、21 日、31 日、9 月 11 日にそれぞれ摘心し、花芽分化および開花時の形質を調査した。
- (2) 休眠打破条件の解明：ハウス内で低温に遭遇させ、ハウス内の 5℃以下の積算時間が処理の設定時間に到達次第、定植を行い、加温を開始し、開花時の形質を調査した。
- (3) わい化剤の処理濃度及び処理時期の検討：ダミノジット顆粒水和剤（ビーナイン顆粒水和剤）を使用し、摘心 10～20 日後及び定植 10 日後に 200 倍で処理し、開花形質を調査した。
- (4) 花色発現の変化に与えるリン酸の影響の解明：基肥にリン酸肥料を 9.9g/鉢、13.2g/鉢に配合した用土を用い、開花時の花色を調査した。リン酸肥料は、リン酸成分量で 9.9 g/鉢の場合（苦土重焼リン 6.3 g、ようりん 3.6 g）とした。

5. 試験結果および考察

- (1) 育苗期の摘心時期の検討
育苗期の適切な摘心時期は「パラソルロマン」は 8 月 30 日、「エンジェルリング」は 8 月 20～30 日、「プリンセスリング」は 8 月 20 日頃に行うと、その後に伸長した側枝に形成される花芽の揃いが良好であった。（データ省略）。
- (2) 休眠打破条件の解明
休眠打破に必要な 5℃以下の低温遭遇期間は、「パラソルロマン」及び「プリンセスリング」、「エンジェルリング」は 720 時間であると考えられた（表 1、2、3）。
- (3) わい化剤の処理濃度及び処理時期の検討
「パラソルロマン」において、開花枝長の徒長改善を目的にダミノジット顆粒水和剤（ビーナイン顆粒水和剤）を摘心 10～20 日後及び定植 10 日後に 200 倍で処理することにより、株高を 30cm 程度に抑制でき鉢の高さを含めた高さの規格 50cm 以下とすることができた（データ省略）。
- (4) 花色発現の変化に与えるリン酸の影響の解明
「パラソルロマン」「エンジェルリング」「プリンセスリング」が赤色を発色するために必要なリン酸成分の施用量は、5 号鉢で 9.9g/鉢以上で、施用量が多い程淡いピンクから濃いピンクへ変化した（表 4）。

※ 本試験の作型は、2月上旬定植後に加温開始、4月下旬～5月上旬出荷の促成栽培である。
定植後の温度管理は、最低15℃、換気温度23℃で行った。

(担当者 研究開発部 花き研究室 木田理沙子*¹、寺内信秀*²、小玉雅晴、緒方裕美子)
*¹ 上都賀農業振興事務所 *² 下都賀農業振興事務所

表-1 5℃以下の低温遭遇時間と開花形質の関係(パラソルロマン)(2020年度)

低温遭遇時間	株数	到花日数 ¹ (日)	開花枝長 (cm)	花序径 (cm)	株高 (cm)
600h	5	91 a ²	8.2 b	21	27
720h	5	82 ab	10.5 ab	22	27
840h	5	79 b	13.1 a	23	30
960h	5	80 b	12.7 a	23	30
有意性 ³		*	*	ns	ns

表-2 5℃以下の低温遭遇時間と開花形質の関係(エンジェルリング)(2020年度)

低温遭遇時間	株数	到花日数 ¹	開花枝長	花序径	株高
600h	5	109 a	7.5	11	16
720h	5	90 b	6.8	12	16
840h	4	90 b	9.6	12	18
960h	5	85 b	9.1	11	17
有意性 ³		*	ns	ns	ns

表-3 5℃以下の低温遭遇時間と開花形質の関係(プリンセスリング)(2020年度)

低温遭遇時間	株数	到花日数 ¹	開花枝長	花序径	株高
600h	4	95	3.8	11	16
720h	5	95	7	13	18
840h	5	95	6.8	11	17
960h	5	87	6.9	13	19
有意性 ³		ns	ns	ns	ns

注1. 到花日数は加温開始から開花までの日数。

2. 多重比較は、Tukey-Kramer法により同符号間に5%水準で有意差なし。

3. 有意性の*は5%水準で有意差あり。nsは有意差なし。

表-4 基肥のリン酸肥料施肥による花色への影響(2021年度)

リン酸成分量 (g/鉢)	パラソルロマン	エンジェルリング	プリンセスリング
0	 淡紫ピンク	 紫赤	 淡紫ピンク
9.9	 ピンク	 赤	 ピンク
13.2	 ピンク	 赤	 ピンク